

◎特集にあたって

編集部

今回の調査季報は、職員研修所と企画調整室が協力しておこなった行政課題研修の二十一テーマ（表参照）の中から七テーマを選び、研究結果についてご報告して頂くこととした。

平成四年度、職員研修所の実施した行政課題研修は、新しい総合計画策定に向けた職員参加の一つと位置付けられ、研究成果を計画策定原案の中に生かすことを目的としてスタートした。研究テーマは企画調整室と各局区が抱える行政課題の中から提出され、全二十一テーマが決定した後、テーマごとにアドバイザーが推薦された。さらに、メンバーは、推薦・公募の形で選ばれ、計二百人余りの職員が参加することとなった。いわば、各テーマに関して、仕事上専門的知識を有するメンバーと、直接仕事と関わりがないが、関心、興味をよせる人との混成のチームが成り立った。

平成四年八月上旬、研究メンバーが集合し毎月半日単位三回の職免体制で、研究がスタートした。各チームには、五万円の研修費用が割り当てられ、「合宿研究」の機会も与えられた。職場を離れ、自由な発想の下で、徹底

した論議がなされるよう工夫された。さらに、研究成果については、企画調整室およびテーマに関連した各セクションの職員を交えて論議する、「研究発表会」が開催された。

そうした各研究成果の概要および発表会の内容については、すでに職員研修所から「行政課題研修・研究グループ報告書」として刊行済みである。

今回取り上げたテーマは環境、福祉、アート、まちづくりなど、バラエティにとんだものとなったが、いずれのテーマも直接テーマとかかわりのある業務を行っている職員が関わっている事もあり、かなり多方面からの議論が行われた。また、新総合計画に対しても多くの提案がなされている。

なお、メンバーの表記については、★がアドバイザー、●がグループ代表者*は執筆者である。また、前職として、研修参加当時の職名を記載した。

表一 研究グループのテーマ一覧

1 生涯健康づくり	11 在宅ケアサービス拡充にむけての基本的考え方
2 会社人間から脱皮し、地域への関心を高める施策	12 高齢者を対象とした施設整備の在り方
3 市民の自主的活動と企業の社会貢献 —自主性と事業性から見た市民事業—	13 最終廃棄物のもつ課題と処理システム —夢の土「ドリームアース」の製造にむけて
4 水と緑と野生生物をよみがえらせ豊かな生活都市をつくる政策	14 「職・住・遊・学」にわたる『自由時間都市』実現のために何をすべきか
5 市民参加による身近なまちづくり —まちを元気にするエンドレスな市民参加	15 都市における農体験を考える
6 都市の限界性総合管理施策	16 下水道事業の目指す都市空間の創造
7 区役所機能強化の方向性について —“SOSOSOS”の勧め—	17 パブリックアートはまちを変えられるか
8 市民のシンボルとしての文化施策	18 都市戦略における知識情報資源の活用
9 横浜の下町のよさを生かしたまちづくり	19 都市のC I—区のイメージアップ
10 自治体の国際協力	20 市民文化の振興と地域社会の役割
	21 地域人材確保に伴う新たな区役所機能の構築について